

平成24年度 第2回 福崎町地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 平成25年3月7日(木) 14:00~15:00

2. 場 所 福崎町役場2階 大会議室

3. 出席者

	所 属 団 体	役 職 名	氏 名	代理等
会 長	兵庫県立大学環境人間学部	教 授	松本 滋	
委 員	福崎町区長会	会 長	中田 光夫	
	福崎町老人クラブ連合会	会 長	庄 幹正	
	福崎町商工会	会 長	後藤 雅一	
	J R西日本福崎駅	副 駅 長	久下 敏之	
	神姫バス株式会社姫路営業所	所 長	切原 慎治	竹内 宏
	社団法人兵庫県バス協会	専務理事	中澤 秀明	小西 一夫
	社団法人兵庫県タクシー協会西播地区(神崎交通有限会社)	副 会 長	依藤 義光	
	神姫バス労働組合	書 記 長	中川 貴水	
	神戸運輸監理部兵庫陸運部	首席運輸企画 専 門 官	新屋敷 昭一	欠 席
	中播磨県民局姫路土木事務所	企画調整担当 主 幹	大山 和弘	欠 席
	福崎警察署交通課	課 長	宮辻 義信	神崎 勝志
	福崎町議会(民生常任委員会)	委 員	高井 國年	欠 席
	福崎町議会(産業建設常任委員会)	委 員	吉識 定和	
	福崎町	副 町 長	橋本 省三	
	福崎町まちづくり課	課 長	豊國 明仁	
オブザーバー	近畿地方整備局姫路河川国道事務所	道路管理 第二課長	水江 正弘	欠 席
	兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課	副 課 長	竹林 誠	荻 裕之

(順不同 敬称略)

	所 属 団 体	氏 名
事務局	福崎町健康福祉課	牛尾 敏博
		谷岡 周和
	(株)丸尾計画事務所	丸尾 哲也
		西村 和記
		小林 巧

4. 配布資料

- 次第
- 座席表及び名簿
- 資料1 サルビア号の利用状況
- 資料2 サルビア号運行見直し基準（県提出）
- 資料3 大門停留所付近ルート変更について
- 参考1 再編前のサルビア号運行概要
- 参考2 サルビア号のパンフレット

5. 傍聴の可否

傍聴可、傍聴人2名。

6. 開 会

（事務局）

ただ今から第2回福崎町地域公共交通会議を開催いたします。

本会議は設置要綱に則りまして公開とさせていただきます。司会進行をさせていただきます、事務局健康福祉課の牛尾です。よろしくお願いいたします。

それでは開会にあたりまして、松本会長よりご挨拶をいただきます。

7. あいさつ

（松本会長）

本日はサルビア号再編後、初めての会議となります。皆様の有益なご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

8. 報告

(1)サルビア号の利用状況について（資料1）

事務局より、サルビア号の利用状況について（資料1）を説明。

（会 長）

サルビア号の利用状況について何かご意見・ご質問などございますか。

（委 員）

サルビア号の無料乗車券は何枚配布されましたか。

（事務局）

各地区のミニデイサービスの際に無料乗車券1枚付きのパンフレットを配布しており、また、無料乗車券が2枚付きのパンフレットを全戸配布しています。

（委 員）

まちなか便の便当たり平均利用者数は分かりますか。

（事務局）

午前便の利用者数はどの便も月100人以上と多くなっています。10時半の便については、12月で月130人程度、1月で月100人程度と多くなっています。午後便については、14時半の便と15時半の便が月100人以上と多くなっています。13時半と16時半の便については月50人程度と少なくなっています。郊外便は利用者がいない便もありますが、まちなか便は便

当たり 4～5 人程度利用しています。

(委 員)

感覚的ではあるが、まちなか便については以前より利用者が多くなっていると思います。

(会 長)

運賃を有料化したにも関わらず、無料であった時と利用者数は変わっていません。サルビア号全体の利用者数は増加していないものの、有料化に伴って大きく利用者が減少する事態にはなっていません。

(委 員)

まちなか便は車両をワゴン車に変更しているため、利用者が多かった場合、積み残しが発生する心配がありました。1 日だけですが、新町から 8 人の利用があり、福崎駅、馬田でも利用があったため、文珠荘では 13 人降車されました。その日は、事前に 5 人以上の利用があると予約をされていたため、小型バスでまちなか便を運行し積み残しは発生しませんでした。もし、その日にワゴン車両で運行していれば乗車定員は 12 人であるため、1 人の積み残しが発生していたと考えられます。その日以外は、通常のワゴン車両で対応出来ています。

9. 協議事項

(1) サルビア号運行見直し基準（県提出）について（資料 2）

事務局より、サルビア号運行見直し基準（県提出）について（資料 2）を説明。

(会 長)

サルビア号運行見直し基準（県提出）について何かご意見・ご質問などございますか。

(委 員)

コミュニティバスの運行基準となっていますが、基準値を設定する際に路線バスも含めて算出しているため、基準値のハードルが低くなっていると思います。コミュニティバスだけで基準値を算出すると利用者 1 人当たり行政補助額が 952 円になり、路線バスを含めると利用者 1 人当たり行政補助額が 700 円になります。路線バスも含めて基準値を設定しても良いのでしょうか。

(委 員)

今回のコミュニティバスの見直し基準について補足説明させていただきます。兵庫県では 27 市町のコミュニティバスに補助をしています。どの市町のコミュニティバスにも同一の問題があり、コミュニティバスを運行しているが利用者が増えていない状況が続いています。その様な状況下で、コミュニティバスを必要としない人にとっては、利用者の少ないコミュニティバスは税金の無駄遣いであると批判の対象となっています。県が補助している以上、どのレベルであれば町民の税金を投入して、コミュニティバスを運行して良いかの基準を作成することが今回の趣旨となっています。コミュニティバスを縮小したいという考えで行っているのではなく、基準を決めてその基準を上回るように頑張ってくださいという考えです。

利用者 1 人当たり行政補助額については、行政補助額が低いほど利用者数を伸ばす必要がある指標です。コミュニティバスだけで算出した利用者 1 人当たり行政補助額 952 円に対して、基準値の利用者 1 人当たり行政補助額 700 円は、現状よりも利用者をより多くするという基準に設定していると思います。利用者 1 人当たり行政補助額 700 円は路線バスを含めて

算出しているため、コミュニティバスも路線バスと同じレベルで頑張るという考えであると思います。基準値はコミュニティバスと路線バスで算出していますが、コミュニティバス見直し基準も利用者1人当たり行政補助額700円で設定しているという考えでよろしいでしょうか。

(事務局)

はい、利用者1人当たり行政補助額700円は、コミュニティバスのみでも基準にするという考えです。

(委員)

今回の基準は意欲的な基準であり、県としては何の問題もありません。住民の方と一緒に頑張って頑張っていたきたいと思います。

もう1つ質問ですが、基準の評価は系統毎に行うのでしょうか。

(事務局)

系統毎の評価も行いますが、見直し基準としてはサルビア号全体で評価を行います。サルビア号全体で今の基準を目指したいと考えています。

(委員)

コミバス見直し基準を県に提出する際は、勘違いが発生しないようにサルビア号全体で評価するという追記してください。

(会長)

本会議で今まで議論してきている考え方もサルビア号全体を改善するという考えであったため、全体で評価する方が良いと思います。

利用者一人当たり行政補助額は700円以下を目指し、沿線人口一人当たり年間利用者回数で1.0回/日以上を目指すことになっていますが、これで基準を下回った場合の対応という表現であると誤解を招く可能性があると思います。

(事務局)

基準を満たさなかった場合という表現に変更します。

(会長)

基準については今回の事務局案でよろしいでしょうか。

(全委員)

異議なし。

(会長)

基準の判定期間が平成26年3月となっていますが、平成26年3月以降については、その際に基準を変更するのでしょうか。

(事務局)

当面、この基準でいきたいと考えています。

(2) 大門停留所付近ルート変更について (資料3)

事務局より、大門停留所付近ルート変更について(資料3)を説明。

(会長)

大門停留所付近ルート変更について何かご意見・ご質問などございますか。

(委員)

ルート変更の運輸局への手続き期限は1ヶ月前までですので、大門停留所付近ルート変更の運輸局への手続きは開始しております。運輸局からの許可条件として、本会議の承認が必要であり、今回承認していただければその旨の書類を運輸局に提出したいと考えています。

(会長)

今回の大門停留所付近ルート変更については、今回の案でよろしいでしょうか。

(全委員)

異議なし。

(会長)

はい、ありがとうございます。今回の協議事項は全て終了しましたが、サルビア号の利用促進について提案などはありませんか。

(委員)

吉田地区で商業施設が建設中となっておりますが、近くにバス停がないため、商業施設周辺にバス停の設置を検討してみたいかと思いますが。

(事務局)

利用促進のため、建設中の商業施設周辺に新設バスの設置を検討したいと思います。

(会長)

ワゴン車両で小回りがきくため、ニーズに合った運行をした方が良いと思います。また、本日の会議に出席するために、福崎駅からサルビア号を利用しましたが、福崎駅を降りてからサルビア号バス停の案内がなかったため、何処にバス停があるかすぐに分かりませんでした。福崎駅にサルビア号のバス停を案内する看板等が必要であると思います。

10. その他

(事務局)

神姫バス竹内課長から連絡事項がございます。

(委員)

神姫バスニコパクラブ会員限定のお得なバスポイント、JR網干駅及び山電網干駅から綾部山梅林への直通バス運行について説明。

11. 閉会

(会長)

本日は地域公共交通会議にご協力いただき、誠にありがとうございました。

(事務局)

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。

これをもちまして、平成24年度第2回福崎町地域公共交通会議を閉会させていただきます。

以上